

母の形見の財布の口金

寄贈／岩原和彦

爆心地から約 550m 鷹匠町(現在の本川町)

寺本ヨシさん(61 歳)と息子の甚一さん(38 歳)は自宅で被爆。自宅は全壊全焼で、3 日後、焼け跡から遺体が発見された。ヨシさんの遺体のそばで見つかったこの財布の口金を、娘の松枝さん(25 歳)は仏壇に入れてずっと大切にしていた。

松枝さんの手記から

『此んな恐ろしいみじめな日が二度と起こらない様、祈らずには居られない。
母や兄は家の下敷きになって焼け死んだ。元気で昨日会った母が、兄が、今日は白骨。どんな思いで死んでいったであろう。夢にも忘れる事の出来ないあの日…』

